

令和 4（2022）年 蘇遙会運営委員会議事録

- 日時 令和 4 年 5 月 20 日（火）16：30～17：40
- 場所 熊本大学工学部 1 号館 2 階 213（共用会議室 C）
- 出席者

蘇遙会会長	山尾 敏孝
運営委員長	円山 琢也
東京支部	坂西 由弘
大分支部	石和 徹也
熊本支部	上月 裕
教室 2 年担任	石田 桂
監 事（教室）	柿本 竜治
令和 4 年度学生部	中村 海
令和 3 年度学生部	藤田 知大、中山 恭吾
事務局	森永 尚子

※一部の運営委員は zoom を使用して参加した。

《報告、討議事項および決定事項》

1 令和 3 年度事業報告および決算報告

1) 令和 3 年度事業報告

- ・ 通常の運営委員会を中止し、学科内運営委員会を 2 回開催した。
- ・ DC 及び情報誌の送付数 3,459 件（郵送数 2,917 件、学内 112 件、メール 430 件）。但し、卒後 68 年経過（およそ 90 歳）以上の会員へは物故者、所在不明が多いため、送付対象としない
- ・ DC 回収数 296 通、インターネットによるデータの修正数 102 件（合計回収率 11.2%）
- ・ その他、例年通りの事業を行った（運営委員会資料参照）。

2) 令和 3 年度会計報告および監査報告

- ・ 収入について、昨年入金予定の 2020 年入学の学生会費（現 3 年）は、ほぼ回収は終えているが、学生部から未納のため 224,000 円減となった。本年度納金の予定。
 - 学生会費が全額入金されていたら、繰越金は増えていたということか（上月）
- 学部 63 名（189,000 円）、2020 年学部 3 年編入 3 名（6,000 円）、2021 年大学院前期 12 名（24,000 円）の合計 219,000 円（留学生を含めたカウント）が増えていたと思われる。（森永）

3) 学生部活動報告

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で多くの活動を中止した
- ・ 蘇遙会研修旅行は日帰り研修に変更した
- ・ 新入生歓迎会を学内散策（親睦遠足）として開催した

4) 学生部決算報告

- ・ 6月開催予定のソフトボール大会は中止となったが、会場費の支払いが必要だった

2 令和4年度事業計画および予算案

1) 令和4年度事業計画

- ・ 新型コロナの影響により学外の委員を招いての蘇遙会運営委員会は中止とする
 - 今回のように zoom 等を利用したオンライン会議で開催することを検討する
 - 随時、学科内運営委員会を開催し、議事録を作成し学外の委員と情報を共有する
 - コロナの状況によっては対面で開催することも検討する
- ・ 山水会土木部総会の開催が不明のため、学生部部長の参加も未定
 - 今年も山水会総会は開催しない予定（坂西）
- ・ 情報誌内容の充実を図り、学生部にも協力をしていただきたい
 - 今は学生部 facebook もほとんど活用していない。連絡用としてはインスタグラムなどを活用している（学生部）

2) 令和4年度予算案

- ・ 2020年度の入学者（現3年生）からの会費徴収分を計上する
- ・ 学生部活動費は予算を30万円とするが、昨年同様15万円を先渡しして様子を見る
 - 参加者全員により承認
- ・ 昨年は予算を0円としていた交通費および会議費を、コロナ感染症に対しての規制緩和の可能性を考慮し、今年度は予算案の通り計上する
- ・ 予算において、予備費を含めない支出額が繰越金を含めない収入額をここ何年も上回っており、予算としては不適切と思われるため、減額案を提案する（森永）
 - 資料の通り3項目202,500円の支出減であるが、交通費、会議費の復活（230,000円）のため昨年度予算より増額となった
 - 令和3年度に回収できていない学生会費は計上されているのか（上月）
 - 正確には2021年学部入学（現2年生）64名（192,000円）、2020年学部入学（現3年生）63名（189,000円）2022年学部3年編入9名（18,000円）、2022年大学院前期37名（74,000円）、2022年大学院後期2名（4,000円）の合計477,000円（留学生を含めたカウント）となる予定。4月1日時点で新規学生会員の人数が不明であったため差が発生した。（森永）

3) 学生部活動予定

- ・ コンセプトは「繋ぐ」
- ・ 新型コロナが落ち着き次第、時期がずれても開催を目標に模索中
- ・ 時期は未定だが、今年度も中止になったイベントがあれば代わりに親睦遠足を行いたい
- ・ 今年の役員は、過去2年の紫熊祭出店イベント中止のため蘇遙会としての参加をしていないため、出店できた場合には過去の記録などを見て準備するしかない。
 - ノウハウなどを受け継いで次の世代へ残してほしい（山尾）

4) 学生部予算案

- ・ イベント中止の場合に行う親睦遠足は、中止になったイベントの予算を充てる（中止イベントが多い場合は、すべての予算を遠足に使用するわけではない）

3 その他

1) 学生会費の返還額について

- ・ 学生部の活動もコロナにより大きく制限されており、学生会費に見合っていないとの意見が出ている。一部返金を視野に入れてその是非と内容を検討していただきたい
 - 大きな額を返金することは会計的にも厳しいので、1人当たり 500 円程度に抑えていただきたい。そのためにもオンラインでの行事開催や人数制限を設け複数回行うなどの工夫をしてほしい（森永）
 - 今すぐに返金するかどうか決められないが、今後の動向を見て学生部と話し合っ決めてほしい（山尾）

2) その他：参加者のコメント

- 【上月】 工業会の仕事も引き受けており、しばらくは蘇遙会もお手伝いしたいと思っています。同期入社（入庁）で同じ大学出身者同士であってもお互いに知らないという場合もある。熊大の場合、先輩から後輩に伝えるものがたくさんあるので、学生部は今後も活動を頑張してほしい。工学部運動会や紫熊祭出店などで 2 年のブランクもあるが頑張れ！
- 【石和】 大分県支部でも、この 2 年間は、コロナ禍の中、各種総会や懇親会等が見送られました。しかしながら、このような時期こそ、これまでの常識にとらわれず新しい時代にマッチした取り組みを進めなければならず、微力ながら、これからも蘇遙会のお手伝いができると思っています。
- 【中山】 大学院への進学を希望しているので今後も蘇遙会に協力したい。土木の人気を盛り上げていきたい。
- 【中村】 社会に出たときに、蘇遙会の活動があつてよかったと思えるように頑張ります。
- 【藤田】 活動すれば下級生は参加してくれるという実感があつた。
- 【円山】 土木建築学科では 2 年時に分科する際、土木へ進む学生が減ってきている。土木の魅力を伝えたい。学生部の活動に期待します。出前講義などの活動も大変ありがたく、今後とも OB・OG のご協力をお願いします。
- 【石田】 2 年生担任です。学科内では広報ワーキング担当。卒業生の活動などをホームページに掲載したい。
- 【柿本】 教室内での教育について検討している。求められる素養や社会人として身につけておくべき事柄など OB から話を聞きたい。
- 【山尾】 今回のようなオンライン会議にも移動や時間の融通などの利点はあるが、コロナの加減もあるだろうが、ぜひ対面でお会いできるようにしたい。1 人でも多く後輩にいい刺激を与えてほしい。